

第3回検討委員会

令和7年9月8日

資料Ⅱ

県立高校の将来ビジョン検討委員会

説明資料

鹿児島県教育庁高校教育課

説明資料

検討依頼事項

■ 検討依頼事項

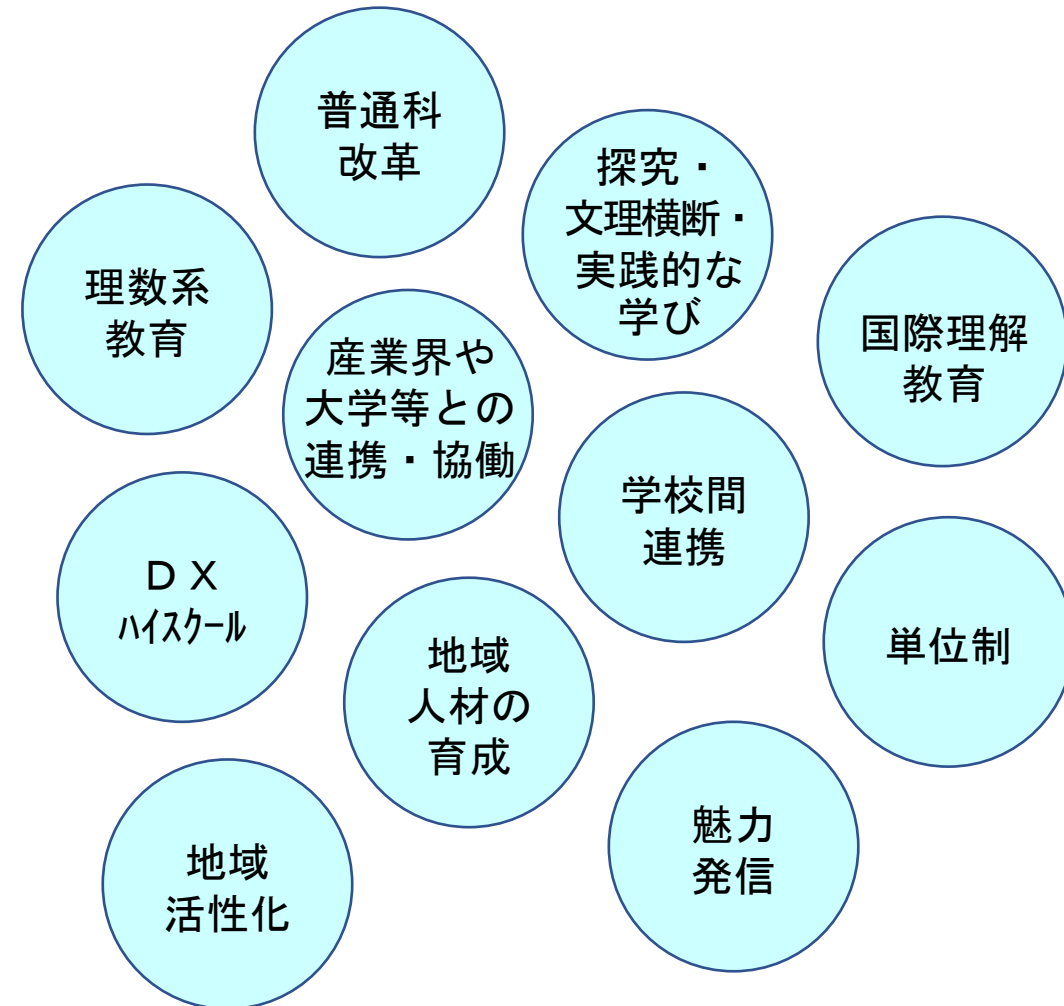
- 1 生徒の多様な学びのニーズへの対応【第2回・第3回】
 - (1) 不登校生徒の学習機会の確保
 - ・ 全日制・定時制・通信制，学びの多様化学校
 - (2) 全ての生徒の学びの充実
 - ・ 探究・文理横断・実践的な学び
 - ・ 産業界等と専門高校の連携・協働
 - ・ 単位制
 - (3) その他
- 2 生徒数減少への対応【第4回・第5回】
 - (1) 少子化が加速する地域における高校教育の在り方
 - ・ 学校の配置，学校の規模，通学区域
 - ・ 小規模校の教育条件の改善（遠隔授業など）
 - (2) 生徒が行きたいと思える学校づくり，特色化・魅力化
 - (3) その他（通学支援，寮）

■ 本日，検討していただきたいテーマ

◎ 生徒の多様な学びのニーズへの対応

『全ての生徒の学びの充実』

- (1) 普通科の学びの充実
- (2) 専門学科の学びの充実
- (3) 総合学科の学びの充実
- (4) その他



高等学校教育の在り方ワーキンググループ 審議まとめ（令和7年2月） 概要

参考資料 1

I. これからの高等学校の在り方に係る基本的な考え方

高校教育の実態が地域・学校により非常に多様な状況にあるため、質の確保・向上に向けて、「多様性への対応」と「共通性の確保」を併せて進める必要

■ 多様性への対応

- 地理的状況や各学校・課程・学科の枠にかかわらず、いずれの高校においても多様な学習ニーズに対応し、潜在的なニーズに応える柔軟で質の高い学びを実現

■ 共通性の確保

- 「自己を理解し、自己決定・自己調整ができる力」の育成
- 「自ら問いを立て、多様な他者と協働しつつ、その間に対する自分なりの答えを導き出し、行動することのできる力」の育成
- 「自己の在り方生き方を考え、当事者として社会に主体的に参画する力」の育成
- 義務教育において修得すべき資質・能力の確実な育成など、「知・徳・体のバランスのとれた土台」の形成

に

取り組む
ことが
特に重要

II. 各論点に対する現状・課題認識と具体的方策

主な手段の凡例 ○: 通知等 □: 予算事業 ◇: 調査 ☆: その他取組

1 少子化が加速する地域における高等学校教育の在り方

- 少子化の影響により多くの地域で統廃合が進行。今後も15歳人口の減少は一層加速。小規模校の教育条件の改善が必要。
- 生徒が行きたいと思える学校づくり、特色化・魅力化が必要。

小規模校の教育条件の改善に向けて

- 教科・科目充実型の遠隔授業、全日制・定時制課程における通信教育の活用、学校間連携等の推進による学びの機会の充実に関する実証研究の実施
- 配信センターの体制・環境整備、学校間連携等の促進
- ◇ スクール・ミッション、スクール・ポリシー等を踏まえた学校教育活動の実施・改善、学校の特色化・魅力化
- ☆ 都道府県と市町村の連携・協力による学校運営
- 地域や学校を越えた生徒同士の学びのネットワークの構築
- コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）の導入等による学校と地域社会の連携・協働の推進
- 学校における働き方改革の推進、コーディネーター等の配置支援

2 全日制・定時制・通信制の望ましい在り方

- 不登校児童生徒数が義務教育段階を中心に増大。高校段階では通信制の生徒数が近年急増。
- 全日制・定時制・通信制いずれの課程にあっても、柔軟で質の高い学びを保障していくことが必要。

生徒の多様な学習ニーズに応える柔軟で質の高い学びの実現に向けて

不登校生徒の学習機会の確保

- 自宅等からの同時双方向型の遠隔授業や通信教育の活用に関する実証研究、モデル事例の創出
- ☆ 履修・修得の柔軟な認定の促進
- 学びの多様化学校や校内教育支援センターの設置促進
- 不登校経験が不利益に扱われない高校入学者選抜 等
- 定時制・通信制課程における優良事例の創出等
- ◇ 広域通信制の設置認可等に関する状況の把握等
- 通信制課程に係る情報公表や制度等に係る情報発信
- ◇ 不登校生徒に対する継続的な実態調査
- SC・SSWの配置充実、心理・福祉分野に強みや専門性を有する教師の育成等
- 公立通信制高校等の機能強化等
- 高校における特別支援教育の充実に向けた体制整備
- 外国につながる生徒の受入れに向けた体制整備

3 社会に開かれた教育課程、探究・文理横断・実践的な学びの推進

- 高校生の3割が家や塾で学習を「しない」と回答。
- 授業の満足度・理解度は学年が上がるともに低下。
- 多くの高校で文理のコース分けがなされ、特定の教科を十分に学習しない傾向。

全ての生徒の学びの充実に向けて

- 普通科改革の促進、コーディネーターの配置支援を通じた探究・文理横断・実践的な学びの推進
- グローバル人材育成に資する拠点校の整備、留学をはじめ国際交流の促進、理数系教育の更なる充実
- 産業界等と専門高校の連携・協働の強化、専門高校を拠点とした地域人材の育成・地方創生の支援、専門高校の魅力の発信
- DXハイスクール事業の更なる推進
- ☆ 学習指導要領の理解や着実な実施、定着
- ☆ 学校における働き方改革の推進、教職員の配置を含む高校の指導体制の充実
- 教師の資質・能力の向上のためのオンライン研修コンテンツの開発支援、探究型の研修の開発・普及
- ☆ 大学入学者選抜を含む高大接続改革の推進
- ☆ 教育費の負担軽減

説明資料

1 「各課程・各学科」の現状等



本県公立高校「全日制・定時制・通信制」の現状（令和7年4月）

		普通科	専門学科								総合学科	計
			農業科	工業科	商業科	水産科	家庭科	看護科	福祉科	その他		
全日制	学校数	40	10	13	22	1	7	2	3	11	5	【68】
	学級数	140	19	45	48	3	13	2	3	16	8	297
	在籍者数	13,481	1,061	4,220	4,246	289	1,172	56	144	1,389	527	26,585
定時制	学校数	1			2							【2】
	学級数	1			2							3
	在籍者数	75			88							163
計	学校数	41	10	13	24	1	7	2	3	11	5	【68】
	学級数	141	19	45	50	3	13	2	3	16	8	300
	在籍者数	13,556	1,061	4,220	4,334	289	1,172	56	144	1,389	527	26,748

※学校数：複数の学科を設置している場合、それぞれの学科に計上

※学級数：令和7年度の第1学年の学級数

※「その他」には、理数科，文理科，文理科学科，体育科，情報科学科，音楽科，美術科，スポーツ健康科，生活情報科を含む。

		普通科	専門学科								総合学科	計
			農業科	工業科	商業科	水産科	家庭科	看護科	福祉科	その他		
通信制	学校数	1						1				【1】
	在籍者数	2,259						1				2,260

本県公立高校「普通科」及び「専門学科（普通系その他）」の現状（令和7年4月）

No	学校名 * 市立	普通科			募集定員 1年・2年・3年	在籍者数			専門学科 普通系その他	募集定員 1年・2年・3年	在籍者数		
		文系	理系	その他		1年	2年	3年			1年	2年	3年
1	鶴丸	○	○		320	322	318	314					
2	甲南	○	○		320	320	318	315					
3	鹿児島中央	○	○		320	323	321	309					
4	錦江湾	○	○	教養	160	94	133	109	理数	80	50	48	46
5	武岡台		理数	人文、外国語	240	241	234	230	情報科学	80	77	78	79
6	開陽				180	79	105	93					
一	明桜館								文理科学	120	73	66	99
7	松陽	文科	理科	体育、書道、英語	240	215	233	236	音楽	40	34	34	31
8	鹿児島東			文理、総合、教養	80	60	65	34	美術	40	40	39	36
9	鹿児島南	○	○		160	160	158	155	体育	40	38	33	39
10	* 鹿児島玉龍	○	○		240	240	235	225					
一	* 鹿児島商業								アスリートスポーツ	40・40・―	39	40	―
11	伊集院	○	○		240	195	201	160					
12	串木野	内部特進		一般	80	35	56	33					
13	指宿	○	○	文総、理総	120	71	73	73					
14	頤娃				40	15	15	25					
15	加世田	○	○		120	79	80	79					
16	川辺	○	○	総合	80	58	32	30					
17	川内	○	○		280	275	274	273					
18	薩摩中央	○	○		40	9	15	17					
19	出水	○	○		120・120・160	111	87	90					
20	大口	○	○		80	35	29	46					
21	蒲生			普通、総合	80	55	40	37					
22	加治木	○	○		320	319	319	301					
23	国分	○	○		280	280	253	199	理数	40	40	39	29
24	福山				40	11	13	7					
一	* 国分中央								スポーツ健康	40	38	37	36
25	曾於				40	32	22	21	文理	40	16	6	10
26	志布志	○	○	英語系	120	71	67	101					
27	楠隼	○	○		90	57	51	42					
28	鹿屋	○	○		240	239	238	189					
29	垂水			ビジネス、進学	40	7	9	8					
30	* 鹿屋女子	○	○		40	38	35	40					
31	種子島	○	○	総合(生活、教養)	80	44	44	46					
32	種子島中央	○	○	教養	40・40・80	25	14	39					
33	屋久島	○	○	ミライデザイン	40・40・―	14	17	―					
34	大島	○	○	環境	80	33	35	37					
35	大島北				240・240・280	214	219	202					
36	古仁屋			進学、情報ビジネス	40	26	27	26					
37	喜界				80	26	37	32					
38	徳之島	○	○		40	16	19	28					
39	沖永良部	○	○		80	40	52	38					
40	与論	○	○		80	34	53	47					
(定時)	(開陽)			総合	80	45	40	46					
					40	25	38	12					
「普通科」41校：13,556人					「専門学科（普通系その他）」9校：1,270人								

本県公立高校「専門学科」の現状（令和7年4月）

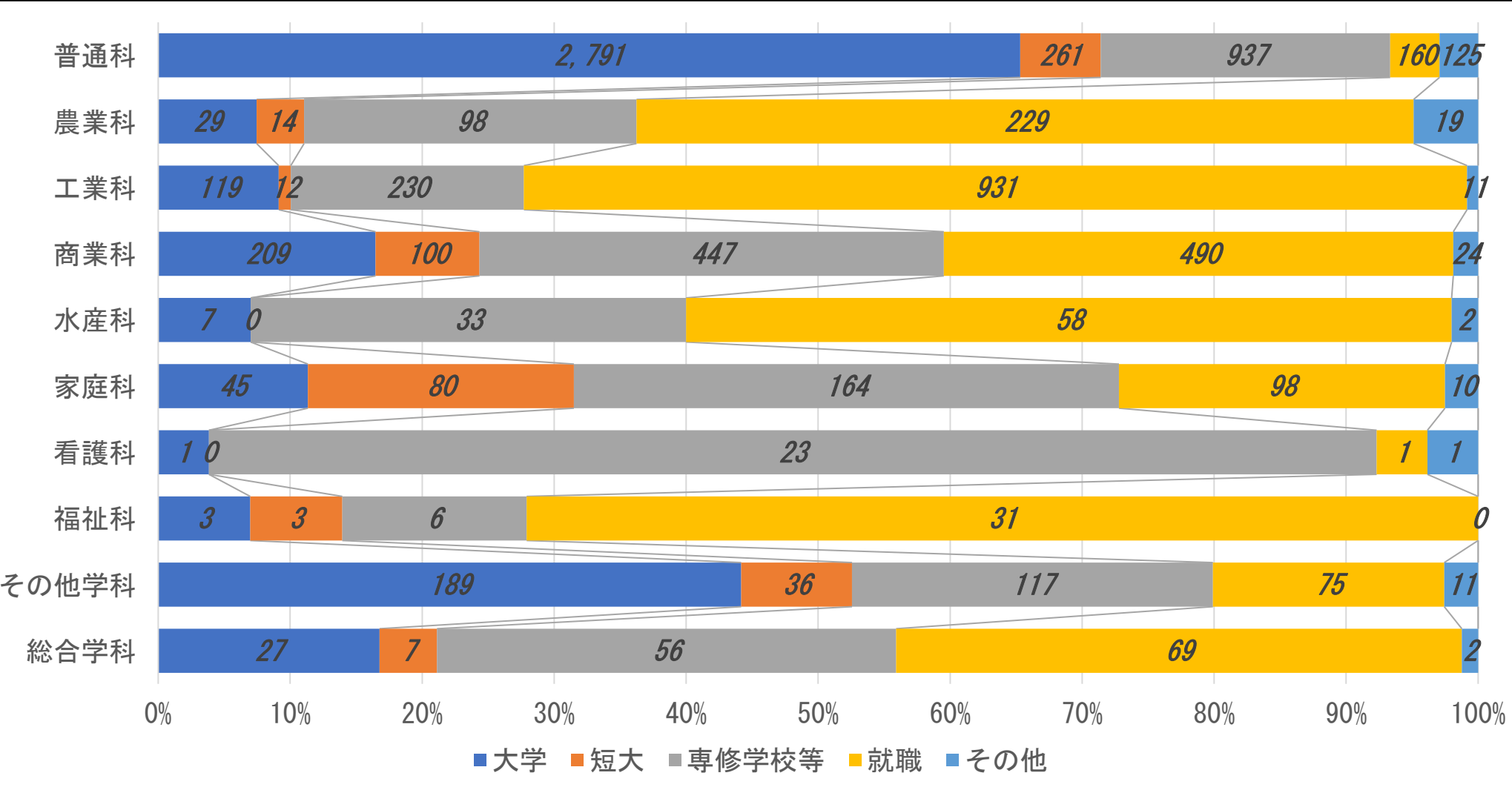
	学校名 *市立	農業				工業				商業					家庭				水産・看護・福祉				その他			
		募集定員		在籍者数		募集定員		在籍者数		募集定員		在籍者数			募集定員		在籍者数		募集定員		在籍者数		募集定員		在籍者数	
		1年・2年・3年	1年	2年	3年	1年・2年・3年	1年	2年	3年	1年・2年・3年	1年	2年	3年	4年	1年・2年・3年	1年	2年	3年	1年・2年・3年	1年	2年	3年	1年・2年・3年	1年	2年	3年
1	開陽																		福祉40	36	28	23				
2	明桜館									80	73	67	76													
3	鹿児島工業					360	359	356	303																	
4	鹿児島南									120	120	119	119													
5	吹上					80	46	46	56	40	18	22	26													
6	市来農芸	120	65	43	40																					
7	*鹿児島商業									240・240・280	240	231	118													
8	*鹿児島女子									160	102	74	100		160	150	135	137								
9	山川	40	6	8	10																		生活情報40	15	7	11
10	頤娃					40	40	33	30																	
11	鹿児島水産																		水産120	93	98	98				
12	加世田常潤	40	14	19	12														生活福祉40	6	3	8				
13	薩南工業					120	55	61	56						40	25	31	25								
14	指宿商業									200	137	174	148													
15	川内商工					240	238	184	196	80	80	79	61													
16	川薩清修館									40	14	14	6													
17	薩摩中央	80	52	57	28														福祉40	9	19	12				
18	鶴翔	80	38	27	29																					
19	野田女子														80	35	33	34	看護40	9	10	13				
20	出水工業					120	76	61	75																	
21	出水商業									160	125	144	152													
22	伊佐農林	40	7	23	9																		生活情報40	30	34	22
23	霧島					40	11	10	18																	
24	蒲生									40	29	24	28													
25	加治木工業					280	223	209	258																	
26	隼人工業					160	126	152	133																	
27	福山									40	13	20	19													
28	国分中央	40	39	39	27					120	94	116	108		80	80	76	77								
29	曾於	40	21	19	23	40	37	25	38	40	40	32	38													
30	串良商業									120	67	79	67													
31	鹿屋農業	240	115	117	140																					
32	鹿屋工業					240	228	161	191																	
33	垂水														40	20	15	16								
34	南大隅									80	22	27	38													
35	鹿屋女子									80	58	65	74		80	73	65	62								
36	種子島	40	18	7	9	40	17	14	26																	
37	種子島中央									40	33	32	38													
38	屋久島									40	22	25	23													
39	奄美					40・80・80	21	26	25	80	57	49	49		40	29	30	24	看護40	6	8	10				
40	大島北									40	22	28	19													
41	喜界									40	23	31	14													
42	沖永良部									40	30	28	26													
(定時)	(開陽)									40	25	26	14													
(定時)	(奄美)									40	12	7	3	1												
		「農業科」10校：1,061人				「工業科」13校：4,220人				「商業科」24校：4,334人					「家庭科」7校：1,172人				「水産」1校：289人 「看護」2校：56人 「福祉」3校：144人				「その他」2校：119人			

本県公立高校「総合学科」の現状（令和7年4月）

	学校名	募集定員	1年 在籍者数	系列名		2年 在籍者数	3年 在籍者数	学習内容（科目等）
1	枕崎 H10.4 学科設置	80	18	文理	進学コース		5	普通教科・科目等
					教養コース	21	20	芸術・家庭・福祉・商業等
				ビジネス情報		6		簿記、ビジネス情報、財務会計等
				計		27	25	
2	鶴翔 H17.4開校 阿久根農業 阿久根 長島を統合	80	40	アカデミア		17	11	普通教科・科目等
				情報ビジネス		16	18	情報実習・ビジネス基礎等
				スポーツ健康科学		9	8	スポーツ理論・社会福祉基礎等
				環境緑地		7	8	農業土木設計・造園計画等
				計		49	45	
3	徳之島 H18.4開校 徳之島 徳之島農業 を統合	40	32	生物生産		14	12	園芸・食品製造・地域農業等
				情報ビジネス		19	16	ビジネス情報・簿記会計・地域経済等
				生活科学		8	8	食物・被服・保育等
				計		41	36	
4	川薩清修館 H19.4開校 樋脇 入来商業を統合	80	60	文理		22	8	普通教科・科目
				スポーツ健康		9	19	体育・生活文化・社会福祉基礎等
				情報マネジメント		8	19	プログラミング・会計実務等
				計		39	46	
5	霧島 H20.4開校 栗野工業 牧園を統合	40	21	観光マネジメント		9	4	観光及び商業に関する科目
				生活科学		7	5	被服・食物・保育等
				人文芸術	進学コース	15	8	普通教科・科目
					音楽コース			芸術に関する幅広い活動を通して専門的な
					美術コース			知識や技術
計		31	17					
合 計			171			187	169	「総合学科」5校：527人

■ 本県公立高校（全日制・定時制）卒業後の進路状況（令和7年3月）

※調査対象：本県公立高校卒業生全員（8,391人）



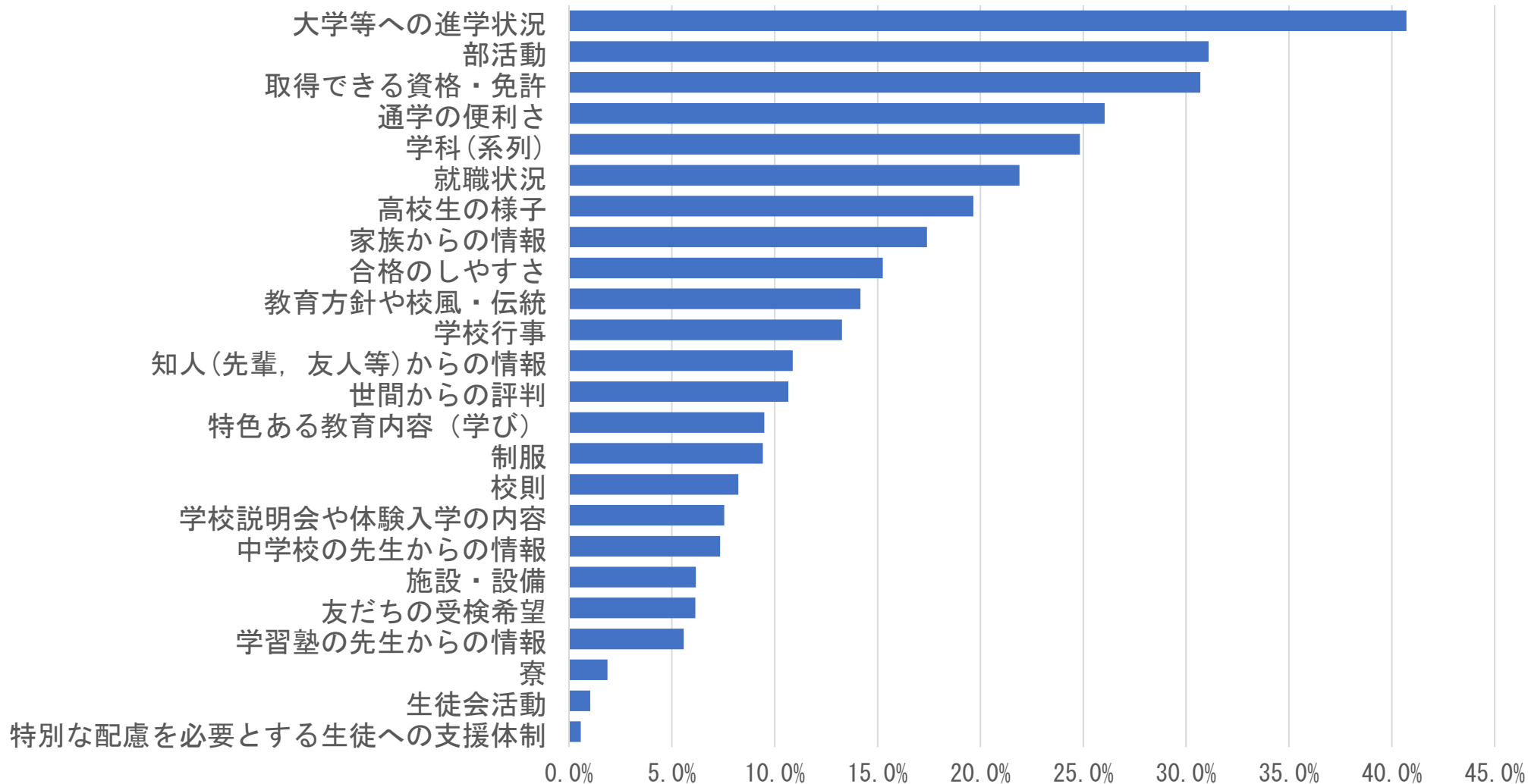
※ 「その他学科」には、理数科，文理科，文理科学科，体育科，情報科学科，音楽科，美術科，スポーツ健康科，生活情報科を含む。

※ グラフ内の数値は，項目毎の人数。

■ 本県公立高校（全日制・定時制・通信制）入学者アンケート（令和7年4月）

※調査対象：本県公立高校入学者全員（9,808人）【回答者数6,804人（回答率69.4%）】

あなたは高校を選ぶとき、何を重視しましたか。（五つまで選択可）



令和8年3月県内公立及び国立の中学校等卒業予定者の進路希望状況（令和7年7月）

調査 年度	区分	公立及び国 立の中学校 等卒業予定	高校等進学			就 職	専修学校 各種学校	職業訓練 機 関	その他
			計	県 内 公立高校	私 立・ 高 専 等				
R 7	実数	14,590	13,857	9,795 [307]	4,062	33	18	3	679
	対前年度 増 減 数	+57	▲ 25	▲ 398	+373	▲ 1	+9	▲ 1	+75
	比率	100.0%	95.0%	67.1%	27.8%	0.23%	0.12%	0.02%	4.65%
R 6	実数	14,533	13,882	10,193 [297]	3,689	34	9	4	604
	対前年度 増 減 数	▲ 261	▲ 325	▲ 132	▲ 193	▲ 9	▲ 10	+2	+81
	比率	100.0%	95.5%	70.1%	25.4%	0.23%	0.06%	0.03%	4.16%
R 5	実数	14,794	14,207	10,325 [322]	3,882	43	19	2	523
	対前年度 増 減 数	+222	+111	▲ 61	+172	+5	▲ 18	▲ 2	+126
	比率	100.0%	96.0%	69.8%	26.2%	0.29%	0.13%	0.01%	3.54%

- 注 1 「県内公立高校」の欄の〔 〕は、全日制普通科における一定枠での学区外入学希望者数の再掲である。
 2 「私立・高専等」は、私立高校及び高専並びに県外の国立・公立高校への進学希望者である。
 3 「その他」は、通信制課程や特別支援学校への進学希望者及び未定者等である。
 4 「比率」は四捨五入しており、比率の合計が各項目の合計と一致しない場合がある。

令和8年3月県内公立及び国立の中学校等卒業予定者の進路希望状況（令和7年7月）

調査 年度	区分	合計	普通科	専 門 学 科									総合 学科
				計	農業	工業	商業	家庭	水産	看護	福祉	その他	
R 7	実数	9,795	5,841 [307]	3,809	354	1,582	1,304	385	101	8	40	35	145
	対前年度 増 減 数	▲ 398	▲ 269	▲ 139	+28	+18	▲ 194	▲ 1	+14	▲ 9	+5	0	+10
	比率	100.0%	59.6%	38.9%	3.6%	16.2%	13.3%	3.9%	1.0%	0.1%	0.4%	0.4%	1.5%
R 6	実数	10,193	6,110 [297]	3,948	326	1,564	1,498	386	87	17	35	35	135
	対前年度 増 減 数	▲ 132	▲ 52	▲ 53	▲ 3	▲ 13	+60	▲ 31	▲ 34	▲ 11	▲ 9	▲ 12	▲ 27
	比率	100%	59.9%	38.7%	3.2%	15.3%	14.7%	3.8%	0.9%	0.2%	0.3%	0.3%	1.3%
R 5	実数	10,325	6,162 [322]	4,001	329	1,577	1,438	417	121	28	44	47	162
	対前年度 増 減 数	▲ 61	+57	▲ 106	▲ 9	▲ 98	▲ 10	▲ 2	▲ 8	+2	+13	+6	▲ 12
	比率	100%	59.7%	38.8%	3.2%	15.3%	13.9%	4.0%	1.2%	0.3%	0.4%	0.5%	1.6%

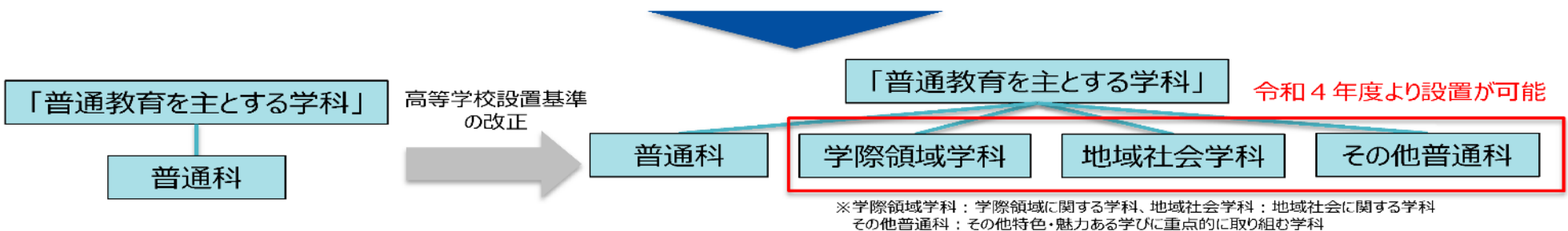
- 注 1 「県内公立高校」の欄の[]は、全日制普通科における一定枠での学区外入学希望者数の再掲である。
- 2 「普通科」には理数科、情報科学科、文理科学科、音楽科、美術科、体育科、スポーツ健康科、文理科、アスリートスポーツ科、ミライデザイン科を含む。
- 3 「専門学科」の「その他」は、生活情報科である。
- 4 「比率」は四捨五入しており、比率の合計が各項目の合計と一致しない場合がある。

説明資料

2 本県県立高校「普通科」の取組

「普通教育を主とする学科」の弾力化－普通科改革の意義・概要

- 普通科には高校生の約 7 割が在籍する一方で、**生徒の能力・適性や興味・関心等を踏まえた学びの実現に課題がある**との指摘もなされており、「普通」の名称から**一斉的・画一的な学びの印象を持たれやすい**ところ、普通科においても、生徒や**地域の実情に応じた特色・魅力ある教育を実現**する。
- 普通科において特色・魅力ある教育を行うにあたって、従来の文系・理系の類型分けを普遍的なものとして位置付けるのではなく、総合的な探究の時間を軸として、**生徒が社会の持続的発展に寄与するために必要な資質・能力を育成するための多様な分野の学びに接することができるようにする**。



学際領域学科

現代的な諸課題のうち、**SDGsの実現**や**Society5.0の到来に伴う諸課題**に対応するために、学際的・複合的な学問分野や新たな学問領域に即した最先端の特色・魅力ある学びに重点的に取り組む学科

地域社会学科

現代的な諸課題のうち、高等学校が立地する地元自治体を中心とする**地域社会が抱える諸課題**に対応し、地域や社会の将来を担う人材の育成を図るために、現在及び将来の地域社会が有する課題や魅力に着目した実践的な特色・魅力ある学びに重点的に取り組む学科

その他普通科

その他普通教育として求められる教育内容であって当該高等学校のスクール・ミッションに基づく特色・魅力ある学びに重点的に取り組む学科

「普通教育を主とする学科」の弾力化－新学科の要件

- (1) **各学科の特色等に応じた学校設定教科・科目**を設け、当該学校設定教科・科目（**2単位以上**）及び総合的な探究の時間を**合計6単位以上、全ての生徒に対し、原則として各年次にわたって**、履修させること
- (2) 学校設定教科・科目と総合的な探究の時間について、**相互の関連を図り、系統的、発展的な指導を行う**ことに特に意を用いること
- (3) 学際領域学科においては、**大学等の連携協力体制を整備**すること
- (4) 地域社会学科においては、**地域の行政機関等との連携協力体制を整備**すること
- (5) 学際領域学科及び地域社会学科においては、**関係機関等との連携を行う職員の配置**その他の措置を講じるよう努めること

新たな学科において考えられる学校設定科目の例

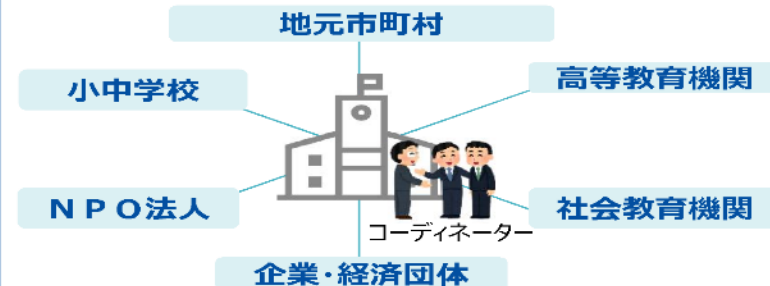
社会科学 研究	社会科学の考え方をを用いて現在の経済活動を読み解き、現代社会の特質や課題について認識を深め、社会課題の解決策を提案
クリティカル シンキング	文脈の中で抽象語を理解し、複数の立場から論じられている文章の読解等を通して、多面的・総合的に考える能力や自分の考えを適切に表現する能力を育成
グローバル 探究	データに基づく論理的思考や調査手法等の研究手法を学ぶとともに、グローバルな社会課題についてSDGsの達成に向けた研究活動を実施
地域学	フィールドワーク等を通して、地域の現状・歴史を知り、地域の課題やニーズを把握。収集した情報を整理・活用し、課題を明確化し、行政・地域・福祉施設等との協議を通して、具体的な解決策を提案。こうした学習の課程においてコミュニケーション能力や交渉力を育成

連携協力体制

<学際領域学科の例>



<地域社会学科の例>



新しい普通科における学校設定科目

学 際	福岡県立八幡高等学校 文理共創科 「知の追究」「知の探究」 計4単位・1～3学年	「知の追究」では教科等横断的な授業を通して、文系・理系の枠を超えて複数の教科・科目を融合し、学問と社会との繋がりや生きる上での学問の意義を感得させ、主体的に学問に向き合う姿勢の育成を目指す。「知の探究」では物事を多角的、複合的に捉え論理的に考察し表現することで、学問領域を統合してアプローチする際の手段となる情報活用能力や課題発見・解決に繋がる豊かな発想力を育成する。
地 域	学校法人信愛学園 浜松学芸高等学校 探究創造科 「探究創造概論」「演習」 計12単位・1～3学年	探究創造概論は、主に学校内にてプロジェクト学習およびそれに必要な基本的スキルや理論を習得するための学習を中心に構成。探究創造演習では、概論で身につけた知識・技能をもとに、主に校外を活動の中心地としてプロジェクトで設定されたテーマや生徒が自ら設定した課題の解決に向けたアイデア構築、制作、プレゼンなどの企画実行に取り組む。
特 色 が あ る 科 目	和歌山県立串本古座高等学校 未来創造学科（宇宙探究コース） 「宇宙探究基礎」 2単位・1学年	民間ロケット発射場が近接しているメリットを活用し、自らの在り方・生き方としっかり向き合い、Society 5.0を生き抜くために必要な力を育成する。宇宙実験に挑戦したり、水ロケットミッションを探究的かつ、競技的な要素を取り入れつつ運動の仕組みや物理・数学に関する内容を組み込みながら学ぶ。また、身近な材料でマイ望遠鏡を作成し、天体観測と天体写真に挑戦するとともに、宇宙飛行士トレーニングを協働的に学ぶことにより、チームビルディングを体験的に学ぶ。
	鹿児島県立種子島中央高等学校 ミライデザイン科 「DX」 7単位・1～3学年	自ら課題を発見し、解決までの過程を筋道立てて構築する力（デザイン思考）と、課題解決のための有効的な手段として、目的に応じてデジタルツールを適切に選択・活用できる力（デジタル技術）の2つの力を育成。デザイン思考では、課題発見力・コミュニケーション力育成のための活動を行い、デジタル技術ではデータサイエンスに関する基礎力の習得を行う。



新しい普通科：種子島中央高等学校ミライデザイン科（令和6年度～）

【目的・必要性】

国の普通科改革や令和3年度の魅力ある県立学校づくりに向けた懇話会のとりまとめを受け、新しい普通科である「ミライデザイン科」を種子島中央高校に設置することで、普通科の特色化・魅力化を推進するとともに、学校設定科目「DX」や総合的な探究の時間を軸に教科横断的な学びに取り組むことで生徒が多様な分野の学びに接する機会を作る。

○ 種子島中央高校の新学科

高等学校設置基準の改正により、普通科に新しい学科を設置することが可能となったことを受けて、種子島中央高等学校の「普通科(2学級)」を、令和6年4月に、新たに「普通科(1学級)」及び新しい普通科「ミライデザイン科(1学級)」に再編した。

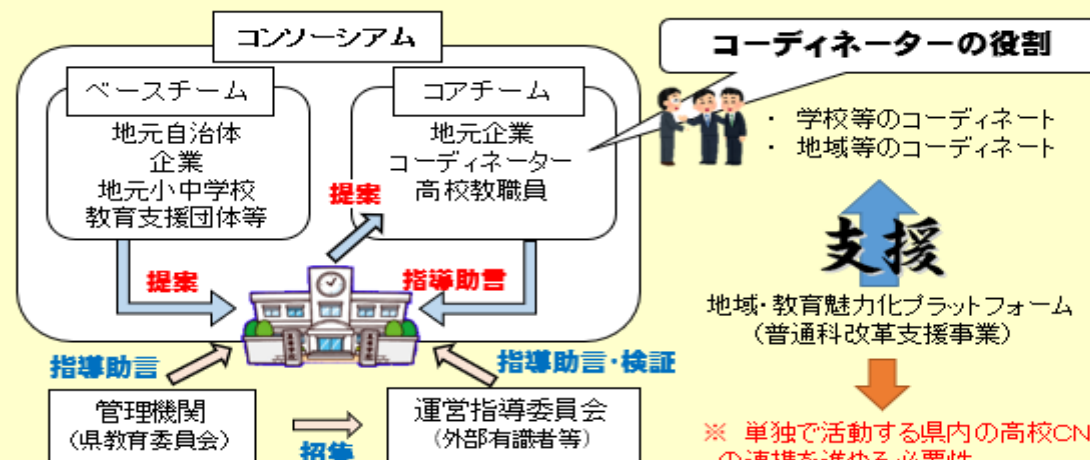
○ 学科再編の目的

デザイン思考
×
デジタル技術

“デジタル人材”に求められる
資質・能力の育成

DX
高等学校DX加速化推進事業
(令和6年度文部科学省事業)

ICTを活用した文理横断的・探究的な学びを強化する
学校に対して、必要な環境整備の支援



※ 単独で活動する県内の高校CN
の連携を進める必要性

～デジタル環境の整備～

- ・ ハイスペックPCによるデジタル技術実習
- ・ アクティブラーニングルームの設置
- ・ オンライン授業の充実
- ・ メタバースなどの仮想空間作成ツールの導入
- ・ デジタル工作機械等の整備 等

○ 普通科改革支援事業(R7まで)と高等学校DX加速化
推進事業(単年)終了後に、学校が自走するための体制
等を整備する。

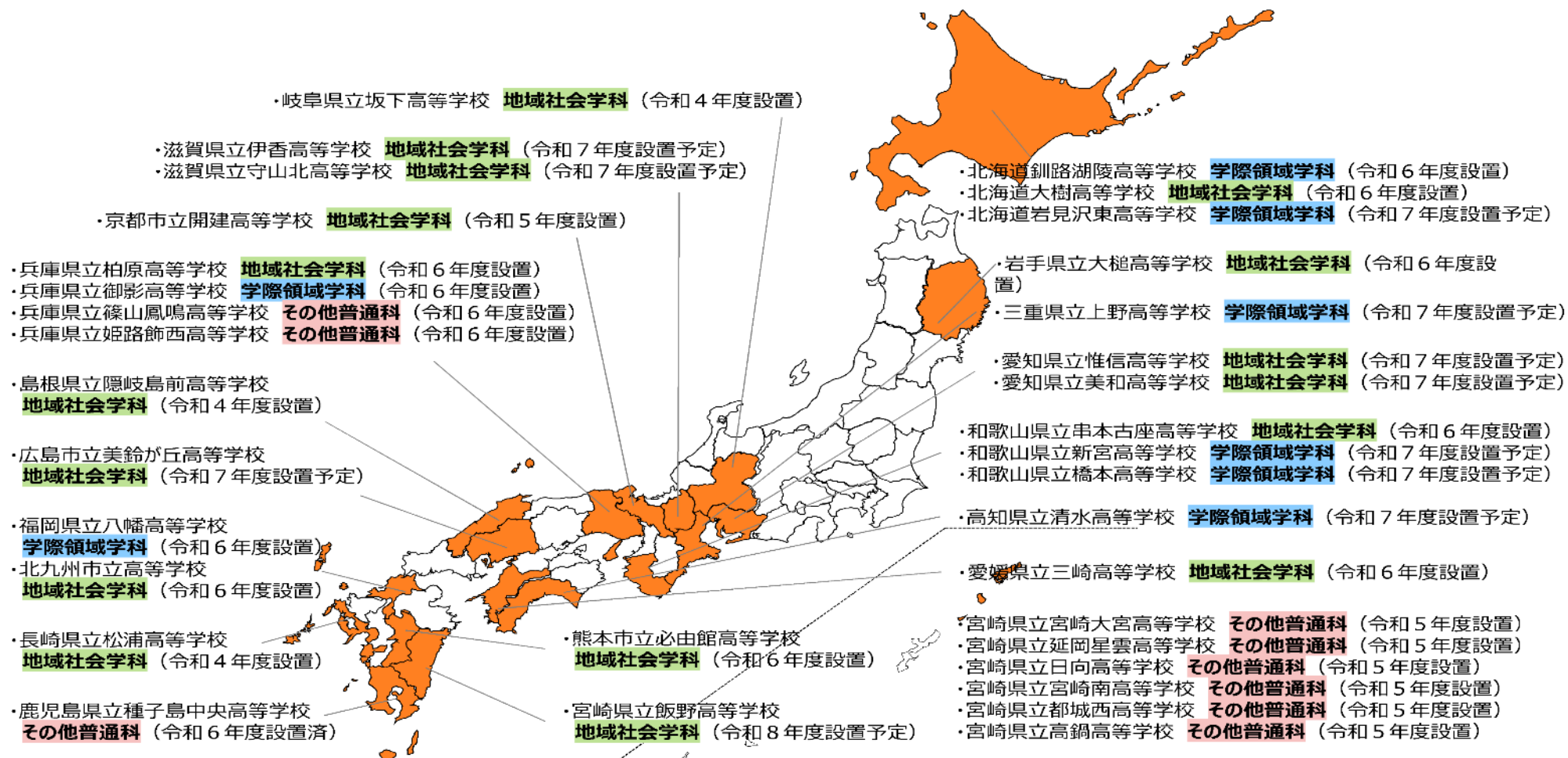
国の普通科改革に併せて新たな普通科設置を行い、探究活動や魅力ある文理融合的な学びを実現



「普通教育を主とする学科」の弾力化－新しい普通科の設置状況

公立高等学校における新しい普通科設置状況

※令和6年5月時点



※私立高等学校は5校設置

※令和5年度学校基本調査 及び 普通科改革事業（令和4年度指定校、令和5年度指定校）等より、文部科学省事務局において作成

長崎県立松浦高等学校の事例（地域社会に関する学科の設置）

新学科の概要

地域や社会の未来を担うリーダーの育成を図るために、高等学校が立地する地元自治体を中心とする**地域社会から得られる様々な分野の知見を学ぶことにより教養を深め、現在及び未来の地域社会が有する課題や魅力に着目**した科学的・実践的な学びに重点的に取り組む学科を導入

<現状> 普通科 2 学級、商業科 1 学級 → <改編後> **地域科学科 2 学級**、商業科 1 学級

地域科学科（新学科）におけるカリキュラムイメージ

地域を科学し、未来を拓く教養を身に付けるプログラム

キャリアプランニングに応じた普通教科科目の学びと地域課題解決型学習（まっナビ・プロジェクト）により、社会の変化に対応できる「課題解決能力」と「ふるさとを大切にする姿勢」を身につけさせることで、キャリア形成（希望進路実現）を図る

学校の特色等に応じた学校設定科目「まっナビ・プロジェクト」

- ・第 1 学年（プレまっナビ）：基礎的知識・技能等の習得、課題研究テーマの設定
- ・第 2 学年（まっナビ）：校外外で課題研究の計画的実施、解決策等を提言
- ・第 3 学年（ポストまっナビ）：個人研究と、地元小中学生に研究成果を報告
（研究テーマ例：「空き家を利用して便利で賑やかな町にしよう」、「タータン×松浦の魅力」、「農業っていいね!!」）

<従来の普通科との違い>

- ・普通教育に基盤を置きながら、**地域社会の諸課題に積極的に関わり、「課題発見力」「論理的思考力」「コミュニケーション力」などの資質・能力を育成するための「科学的な学び」「実践的な学び」に重点を置く**
- ・総合的な探究の時間及び学校設定教科・科目において、**社会的課題や地域が有する魅力と自分との関わりについて領域横断的に学習**

総合的な探究の時間
キャリアプランニング

科学的な学び
実践的な学び

学校設定科目
まっナビ・プロジェクト

普通教科科目
キャリアプランに応じた学び

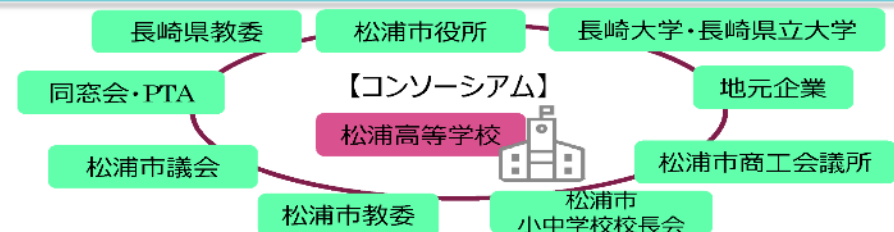


令和 2 年度
課題研究
『農業って
いいね!!』

地域との連携体制

高校生と課題解決のマッチングを効果的に行うための**コンソーシアム**を構築

- ・地域との協働による活動を学校の教育活動に明確化
- ・専門人材の配置等、校内体制の構築
- ・学校と地域をつなぐコーディネーターを指定
- ・将来の地域ビジョン・求める人材像を共有し、地域協働に資する学習カリキュラムを開発 等



※長崎県教育委員会等資料を基に文部科学省において作成

「普通教育を主とする学科」の弾力化－コーディネーターの例



#専任

愛媛県立三崎高等学校 社会共創科

経歴等 >>>

教職経験や一般企業での海外勤務経験等の幅広い経験を有する。

業務内容 >>>

三崎高等学校の職員室に常駐し、校内の地域協働課に配属。「未咲輝（みさき）学」等のアップデート、地域探究活動に関係する新しい学校設定科目「トライブ・ラーニング」等の立案、地域特別講師データベースの構築、新事業の企画立案や外部人材との連絡・調整等を行っている。また、教員や生徒とともに、学校の魅力を全国の中学生に向けて発信している。



#NPO・企業等関係者

北海道大樹高等学校 地域探究科

経歴等 >>>

大樹町教育委員会社会教育課地域コーディネーター（小・中学校の地域連携）や大樹町学校運営協議会委員、自治体等のPRプロジェクトマネジメント、企業インターンシップのコーディネート等の経験を有する。

業務内容 >>>

コーディネーター統括として、探究学習のカリキュラムマネジメント等を行うとともに、学校や運営指導委員会、コンソーシアム、学校運営協議会、町教育委員会との連絡・調整を行っている。また、地域・校外向け情報発信をプロデュース。地域探究サークル顧問も担っている。



#大学関係者

北九州市立高等学校 未来共創科

経歴等 >>>

北九州市立大学准教授。高大連携事業や高大接続についての取組をゼミ活動として実施している。

業務内容 >>>

教職員への研修業務や学校設定教科・科目のカリキュラム開発にかかる指導・助言、検討委員会が策定するカリキュラムづくりの支援、事業実施体制の構築、年間指導計画の策定、評価方法の設計等を支援する。また、北九州市立大学と北九州市立高等学校との連携活動や、学校の要望に応じて、大学生を交えた探究活動の企画・調整等を行う。



#退職教職員

長崎県立松浦高等学校 地域科学科

経歴等 >>>

元松浦市立中学校校長

業務内容 >>>

「まっナビ・プロジェクト」を活用した松浦高等学校と近隣小中学校との交流学習の企画・運営。「まつら高校応援団」等と、生徒の学びへの支援内容等について調整。探究活動等が可能となる団体・人物に支援を依頼。近隣小中学校や市、事業所等との意見交換や情報収集等。近隣中学校に対する地域科学科の生徒募集活動。県内外の高校との連携事業を具体化し、生徒間・教員間の意見交換の場を設定。